

第 6 号議案資料

日本NPO学会 2019 年度事業報告（第 2 次案）

2020 年 2 月 28 日

日本NPO学会会長 岡本 仁宏

<総評>

2019 年度、龍谷大学において第 21 回大会を盛会のうちに開催した。他組織との連携セッションの拡充など、新規会員獲得にもつなげることができた。

学会誌『ノンプロフィット・レビュー』において、本会 20 周年記念特集号を発刊した。

さらに、学会賞を募集選考し表彰を行った。これらの基本的な事業において、制度整備を行いつつ、内容の改善を図った。また、次年度に向けて現在も順調に選考を行っている。

このような基本的な事業を、それぞれに改革を図りつつ展開することができた。

組織としては、18 年度以来の財政再建を進め、危機的だった財務の改善を図った。徳島での新しい事務局体制を起動させ、新しい業務委託先との契約を始め、会員マイページシステムの導入を図った。業務委託先への引継ぎに関連して会費請求事務の遅れが発生し、会費納入率が低下したが、印刷経費等の事業費の効率化、管理費・旅費等支出面での節約を図ることによって財務状況は全体として改善された。事業拡充の基盤を作ることができた。

財務改善とともに、新規事業を展開した。20 周年記念事業会員アンケートを行い報告書をまとめ、会務の改善のための情報を得た。また、本年度より災害等対応委員会を発足させ災害時の対応と社会貢献のあり方を検討した。さらに、事務局に広報部会を設置し、その報告を受け会員コミュニケーション及び広報システムのアップデートを図った。しかし、従来のニューズレターの発刊を、新しいニュースサイトでの情報提供に移行を行う点で、その遅れから 19 年度における発行回数が一回となり、広報上問題を残した。他方、学会紹介のパンフレットを作成し広報に用い始めるなどの展開も行われている。

1. 事業

(ア) スタディグループ活動助成事業

- ・ 昨年度の助成金交付事業については、順調に事業が進行した。
- ・ 「日本NPO学会スタディグループ活動助成金交付要綱」に基づき公募を行ったが応募がなく、制度改革と募集時期の改善を行った。

(イ) 国際研究ネットワークとの交流・連携

- ・ 国際交流を所管する学術研究委員会において、NPO・NGO・市民社会・ボランティア・社会起業などの研究に関する国際的な学会・研究ネットワーク（ARNOVA, ISTR など）との交流を行った。
- ・ 会員の海外研究発表を奨励するとともに、国際学会参加報告を行った。
- ・ ARNOVA、ISTR などの国際学会に本学会会員が多数参加し、研究報告を行うなどの研究交流を行った。
- ・ 前年度に締結された ISTR との Memorandum of Understanding（覚書）を継続・遵守した。

(ウ)大会・セミナー等の開催

- ・ 第 21 回年次大会を 2019 年 6 月 1 日～2 日に、龍谷大学瀬田キャンパスにて開催した（大会実行委員会委員長：筒井のり子会員）
- ・ 第 22 回年次大会を 2020 年 6 月 9 日～10 日に、駒澤大学において開催するために、大会実行委員会を設置し、事業準備を進めた（大会実行委員会委員長：李 妍焱会員）。

(エ)学術誌の編集・発行

- ・ 学会誌『ノンプロフィット・レビュー（The Nonprofit Review）』は、第 19 巻 1 号 20 周年記念特集号を発行し、会員に配布するとともに、オンラインジャーナルとして J-STAGE を通じて公開した。新規の編集発行体制の下での発行となった。
- ・ JANPORA ディスカッション・ペーパーは、今年度は発刊しなかった。

(オ)日本NPO学会賞

- ・ 学会賞選考委員会により、第 17 回「日本NPO学会賞林雄二郎賞」始め、昨年度整備された規定に基づき、「日本NPO学会賞優秀賞」「日本NPO学会賞奨励賞」「日本NPO学会賞 選考委員会特別賞」「日本NPO学会賞 年次大会優秀発表賞」を募集選考し、表彰した。
- ・ 第 18 回学会賞の公募と選考を開始した。
- ・

(カ)20周年記念事業

- ・ 20 周年記念事業委員会の議に基づき、会員アンケートの結果報告書を作成した。
- ・ 2019 年第 21 回大会における学会 20 周年記念パネルを行った。
- ・ 学会誌において 20 周年記念特集号を発刊した。

(キ)科研費の審査区分表の改訂に関する情報収集

- ・ 学術振興会の審査区分表の改訂に関する情報収集を行い、学術研究委員会において対応を検討した。
- ・ 理事・会員の協力を得て、日本の大学における NPO・非営利社会活動教育の現状の把握を行った。

(ク)災害等対応に関して

- ・ 災害等対応委員会において、自然災害等緊急時における本学会の対応について検討し、その初年度中間報告を得た。この報告に基づいて学会としての対応について具体化を進めた。
- ・ 台風 19 号の被災に関する会長メッセージを、同委員会とも協議しつつ発信した。

2. 組織体制

(ア)会員

- ・ 会員は、2020 年 2 月 26 日現在で正会員 642 名、賛助会員 1 団体であった。前年度から〇〇名

の退会があり、〇〇名の新入会員を迎えた。

参考：「会員は、2019 年3 月31 日現在で正会員635 名、賛助会員1 団体であった。前年度から103 名の退会があり、32 名の新入会員を迎えた。」

- ・ 新会員システムを導入し、マイページ機能を起動させ会員情報の更新を進め、会としての基盤的情報を整理した。
- ・ 業務委託業者の変更に伴い、会費請求が遅れ、この結果会費請求が遅れ納入率の低下が起こった。

(イ)総会

2018 年6 月2 日に龍谷大学瀬田キャンパスで総会を開催した。

① <審議事項>

1. 第1 号議案 2018 年度事業報告について
2. 第2 号議案 2018 年度決算について
3. 第3 号議案 監事の選任について
4. 第4 号議案 顧問の選任について

② <報告事項>

1. 2019 年度事業計画について
2. 2019 年度予算案について
3. 新規入会会員について
4. 新会員システムの導入と事務局移転について
5. 災害等対応委員会の設置について
6. 第22 回年次大会開催校および大会実行委員会体制について
7. 広報検討部会の設置について
8. その他

(ウ)理事会

① 第10 期理事会

対面理事会を4 回、メール理事会を4 回行い、業務執行を行った。

1. 第11 回メール理事会 (審議期間)：5 月7 日－12 日24 時まで
 - ・ 第1 号議案 電子メール等による理事会決議における回答期間の短縮について
 - ・ 第2 号議案 2018 年度日本 NPO 学会総会の日時、場所、審議事項について
2. 第12 回メール理事会 (審議期間)：2019 年5 月25 日-29 日24 時まで
 - ・ 第1 号議案 2018 年度事業報告(案)の承認
 - ・ 第2 号議案 2018 年度決算報告(案)の承認
 - ・ 第3 号議案 2019 年度予算案(補正予算案)の承認
 - ・ 第4 号議案 監事の選任にかかる承認
濱口博史会員を監事として推薦

- ・第5号議案 顧問の選任にかかる承認
樽見弘紀会員を顧問として推薦
- ・第6号議案 第22回年次大会実行委員会の設置と実行委員会委員長の報告にかかる承認
大会実行委員会の設置及び李妍焱会員（駒澤大学）の実行委員会委員長就任承認
- ・第7号議案 災害等対応委員会委員長及び委員会委員指名報告の承認
三木秀夫理事の災害等対応委員会委員長への就任について承認
- ・第8号議案 新規入会会員について
- ・その他執行部、各委員会より報告があった。
 - 1 一般社団法人学会支援機構との契約について
 - 2 紙徳真理子氏への業務委託にかかる報告について
 - 3 公益財団法人村田学術振興財団への学会助成申請について
 - 4 学会事務局移転および新会員システムの導入について

3. 第13回対面理事会 2019年6月1日（土）13:20～14:30 会場：龍谷大学瀬田キャンパス

- ・第1号議案 学会誌の編集・校正・印刷・製本等業務にかかる委託契約（案）について
- ・第2号議案 2019年度事業計画（修正案）について
- ・第3号議案 新規入会会員について
- ・その他執行部、各委員会より報告があった。
 1. 第17回日本NPO学会賞受賞作品について
 2. 2019年度総会の配布資料について
 3. 退会会員について
 4. 広報検討部会について
 5. 新会員システムについて

4. 第14回対面理事会 2019年8月26日（月）14:00～17:00 会場：関西学院大学大阪梅田キャンパス

- ・第1号議案 学会誌の契約について
- ・第2号議案 第22回年次大会実行委員会の設置について
- ・第3号議案 新規入会会員について
- ・第4号議案 今後の事業について
- ・その他執行部、各委員会より報告があった。
 1. 執行部業務報告について
 2. 事務局業務報告について
 3. 田中顧問の辞任について
 4. 年次大会優秀賞の発表について
 5. 各委員会報告について

5. 第15回対面理事会 2019年12月26日(木) 13:30~17:30 会場：日本NPOセンター地下会議室

- ・第1号議案 選挙関係規程について
- ・第2号議案 大会運営規程のあり方について
- ・第3号議案 入会者について
- ・その他執行部、各委員会より報告があった。
 1. 執行部業務報告について
 2. 学会事務局業務委託について
 3. 広報検討部会について
 4. 各委員会報告について

6. 第16回メール理事会(審議期間)：2020年2月11日(火)~2月15日(土) 24時まで

- ・第1号議案 選挙管理委員会の設置の承認
- ・第2号議案 選挙管理委員会委員の承認

7. 第17回対面理事会 2020年2月28日(金) 13:30~17:30 会場：関西学院大学大阪梅田キャンパス「1406教室」

- ・第1号議案 理事会の議決について
新型コロナウイルスの影響に鑑み、zoomでのネット参加を出席とする。
- ・第2号議案 選挙関係規程について
正副会長選出のための規程
- ・第3号議案 大会運営規程について
- ・第4号議案 研究倫理・ハラスメント等ガイドラインについて
- ・第5号議案 スタディグループ活動助成金交付要綱の改正について
- ・第6号議案 2019年度事業報告案について
- ・第7号議案 2020年度事業計画案および予算案について
- ・第8号議案 新規入会員について
- ・その他執行部、各委員会より報告があった。
 - 1 執行部業務報告
 - 2 各委員会報告

8. 第18回メール理事会(予定)(審議期間)：2019年3月

(エ)委員会

- ・2018年度に本格的に開始された委員会体制(常設委員会、及び特設委員会)を、引き続き円滑な運用を図った。

(オ)細則・規程等の制定（予定）

・各種規程を整備し、組織運営のコンプライアンスを向上させた。

- ① 日本 NPO 学会スタディグループ活動助成金交付要綱の改正
- ② 正副会長選挙実施規程の制定
- ③ 研究大会運営規程・研究大会運営規程の制定
- ④ 倫理規定の制定

(カ)事務局及び事務局長

・徳島大学での事務局体制が円滑に進行した。

・新しい業務委託契約締結に伴う移行措置を順次行った。この過程での会費請求関係の遅れが生じた。

(キ)監事

・会則に基づき、2019 年 6 月の定時総会で濱口博史監事の選任を行い、監事 2 名体制を確立した。

(ク)広報

- ① 広報検討部会において、広報体制全般の検討を行い、それに基づき広報体制を改訂した（予定）。
- ② ニュースレターの紙媒体での発刊を停止し、ウェブ上での同等水準の会員中心の広報を行うこととなった。しかし、この作業の遅れが生じることによって、会員への広報という点で問題を残した。

3. 財務

(ア)補正予算

・年度末までに決定した予算案をもとに、決算が確定した時点で財務状況の把握の上、2019 年 5 月の理事会において補正予算案を策定し、執行した。

(イ)財務管理

- ・経理規定をきちんと順守できる事務体制を確立した。
- ・理事の協力を得て、理事会・委員会の旅費の抑制を図り、かつ組織運営委員会の検討を経て理事会において旅費規程に基づく支出を行った。
- ・龍谷大学での大会会計を、独立の事業会計として把握し、助成金も得て黒字会計とした。
- ・会費請求の遅れから徴収率が低下した。
- ・事務経費の削減のために委託内容を見直し、抑制を図った。

○組織体制：(2020 年 3 月 31 日現在)

会長 岡本仁宏

副会長 早瀬 昇

理事（あいうえお順、以下同じ）

秋葉 武、雨森孝悦、今田克司、後 房雄、岡田 彩、岡本仁宏、岡村こず恵、岸本幸子、粉川一郎、小田切康彦、坂本治也、桜井政成、田中敬文、筒井のり子、永井美佳、仁平典宏、初谷 勇、早瀬 昇、藤井敦史、杓永佳甫、三木秀夫、目加田説子、山岡義典、

常設委員会（委員長は常務理事を兼任）

- ・組織運営委員会（初谷 勇委員長、岡村こず恵、小田切康彦、三木秀夫、山岡義典）
 - ・学術研究委員会（藤井敦史委員長、後 房雄、岡田 彩、坂本治也、桜井政成、仁平典宏、目加田説子）
 - ・大会運営委員会（田中敬文委員長、今田克司、粉川一郎、小田切康彦、筒井のり子）
 - ・編集委員会（後 房雄委員長、坂本治也、桜井政成、藤井敦史、杓永佳甫）
- 学会賞選考委員会（雨森孝悦委員長、秋葉 武、岡田 彩、岸本幸子、永井美佳、新川達郎、仁平典宏）

特設委員会

- ・20周年記念事業委員会（早瀬昇委員長、今田克司、今村 肇、粉川一郎、坂本治也、島岡未来子、仁平典宏、杓永佳甫、目加田説子、山岡義典）
- ・災害等対応委員会（三木秀夫委員長、秋葉 武、岡本仁宏、岸本幸子、永井美佳、仁平典宏）

大会実行委員会

李 妍焱委員長、井上英之、今田克司、大石俊輔、梶間陽一、粉川一郎、田中敬文、利根英夫、原田晃樹、広石拓司、藤井敦史、古沢広祐、松田妙子、三浦一浩、水谷衣里、事務局: 松本典子

事務局

事務局長 小田切康彦

事務局員 森 望

広報検討部会（小田切康彦事務局長、石田 祐、稲田千紘、岡本仁宏、粉川一郎、佐野淳也

顧問 樽見弘紀

監事 各務克郎 濱口博史